



特集

ひきこもりについて考える

問い合わせ

金屋庁舎やすらぎ福祉課

職場や学校、地域においての人間関係の悩みは、
誰もが経験したことがあるのではないのでしょうか。

中には「もう外に出たくない」と考えたことがある人もいるかもしれません。

普段は気にならないことでも、その時の心の状況や環境によっては、
誰もがひきこもりになる可能性があるのです。

もし、自分が、家族が、ひきこもりになったら：

決してひとごとではない『ひきこもり』は、現代社会において、
家庭や学校、企業、地域社会などで取り組むべき問題となっています。

11月は、『子ども・若者育成支援強調月間』。

この月間を機会に、あなたも一緒に考えてみませんか。